

令和6年度保育サポーター研修会

と き 令和7年3月2日(日) 10:00～

ところ 山口県医師会6階会議室

[報告：常任理事 長谷川奈津江]

令和6年3月2日、保育サポーター研修会が開催された。

男女共同参画部会の戒能美雪 会長から挨拶と保育サポーターバンクの現状説明があり、ついで綿野朋美 先生の講演「子どもの病気、昔と今」を拝聴した。

講演

「子どもの病気、昔と今」～身体の病、心の病～

よしみクリニック 綿野 友美

本講演は、医師家庭の子育て支援をされる保育サポーターを対象に、子どもの発育・頭部打撲・誤飲・病気・ワクチンなど多岐にわたる知識をわかりやすく親しみやすい口調でお話が進んだ。

子どもの発育では、月齢・年齢別に生態を解説し、乳幼児期の栄養や離乳食、しつけ、食物アレルギーについて説明。病気については、インフルエンザや手足口病などの感染症を中心に、原因、感染経路、症状、治療法を解説。特に、感染症対策として、抗菌薬の適正使用とともに手洗いやうがい、消毒の重要性を強調。ワクチンについ

ては、ワクチンで防げる病気 VPD や予防接種スケジュールについて解説された。子宮頸がんワクチンについては、接種対象年齢や副反応、相談窓口などの情報を提供された。また、名古屋スタディから、HPV ワクチンの安全性についての説明には、頷く方が多かった。思春期については、身体の変化や心の変化、性に関する問題、心身症、起立性調節障害などを解説され、短く感じた1時間半だった。そして講演後も多くの積極的な質問や感想をいただいた。「ワクチンを勧めるときに気を付けることは」「子どもの発育や病気について詳しく知ることができた」「ワクチンについての理解が深まった」「5時間ぐらい聞いていたい」などの感想が寄せられた。特に、「仕事を始める前に準備をするように、親になるときもこうやって勉強ができればよいのに」という意見には、深く共感できた。和やかな雰囲気の中での充実した講演であった。

綿野先生、ありがとうございました。

